

オオハンゴンソウの分布状況

はじめに

例年通り、平成26年8月8日環境省の提唱で核関係団体が参加して除去作業が行われた。当協会は毎年担当している同じエリアをなるべく深く根から引き抜く形での除去作業を行っている。花芽がなくとも小さな株が地面10cmぐらいのところによくあり、やぶ蚊に刺されながらの作業となった。8月23日五色沼の別の場所での除去作業はいくつかある流山での作業のため、足場が悪かった。人の出入りがある場所ではないのでそこまで小動物により、種が運ばれるのかなと思わせる場所であった。

毘沙門沼周辺は大分減少してきていると思われるが、昨年夏からの国道459線の毘沙門沼入口の道路拡幅工事に伴い、毘沙門沼より長瀬川にそそぐ川の暗渠工事でまたどのように変化していくのか確認したい。

長瀬川が国道沿いに見える場所は草刈等で減少傾向にあるが、くるみの森別荘地内の長瀬川沿いは繁茂しており、手が付けられないほどである。その状態が秋元集落まで続いており、長瀬川沿いの千貫・川上は未調査であるが、長瀬川沿いというところで調査の対象を広げる必要も感じる。

今年度は昨年より少し調査時期が遅れたこともあり、国道沿いは草刈をされる方があり、正確な調査というわけにはいかなかった。またその草刈により花芽などはそのまま放置されていたので、それがどのように影響するのかわからない。

調査日

平成26年 8月22日・8月30日・8月31日・9月1日

調査方法

GPSを使用し面積を割り出し、地図へ落した。

猪苗代方面に向かって左右を統一して記述した。

レベル基準

- 1 10本以下
- 2 10～30本
- 3 30～100本
- 4 100本以上

調査範囲

- ・ 県道（猪苗代～米沢）剣ヶ峰交差点～早稲沢元スカイバレー入口跡
- ・ 村道 早稲沢～檜原

- ・ 国道 4 5 9 号線 磐梯朝日国立公園看板～元ゴールドライン入口跡
- ・ 村道 剣ヶ峰分岐～曾原～孤鷹森
- ・ 村道 五色沼入口～蛇平～小野川～グランデコリゾート
- ・ 村道 秋元湖入口～千貫橋
- ・ 村道 蛇平～クルミの森内
- ・ 県道 剣ヶ峰～レークライン入口跡～望湖台

考察

人の活動域に沿ってオオハンゴンソウは拡散し、適応状況にあった場所で繁茂していくと思えるが、萱やススキ等と混在している川辺はしぜんに消滅していくのかが分からない。日当たりの良い場所では繁茂状態が維持されるが日当たりの悪い場所では減少傾向にあるように見える。

国道 4 5 9 線沿いと長瀬川沿いと分布状況の比較も必要であると考えてるので裏磐梯での調査を継続しながら調査できればと考えている。

私有地での調査も難しい点が多く、駆除作業となると制約がありすぎる、その点を考えると行政の支援を受けて一度に多人数を除去作業に投入する必要がある。

1・地区ごとへの啓蒙活動

2・地区を限定して駆除作業を実施

* 小野川地域・くるみの森別荘地内は全体に広がっており、地区の方々への説明・協力を仰いで具体的に駆除作業についての方法を検討する。

調査者

高橋千浩 真野真理子